



社会階層研究の現在 ——労働関連分野を中心に

麦山 亮太

(学習院大学准教授)

I 序論

社会階層研究は、社会的不平等の実態とメカニズムを明らかにする社会学の一分野である。近代社会において希少財の配分の多くは労働を通じて生じる。そして労働市場は人々を異なる地位へと配分し、異なる報酬を与え、階層を形作る場と位置づけられてきた (Kalleberg and Sørensen 1979)。もちろん、近年は労働を介さずに形成される富 (wealth) が無視できない役割を果たしていることにも注目が集まっているものの (Killewald, Pfeffer and Schachner 2017)、依然として不平等・階層現象を捉えるうえで労働は中心的な位置を占めている。

本稿では、とくに労働関連分野に関連する社会階層研究を中心に、日本国外の研究動向をレビューする。社会階層研究の射程は極めて広くかつますます拡大しており (Gangl et al. in press; Mouw 2022)、すべてを把握することは困難である。そこで本稿はごく一部にはなるが、筆者の視点から、労働関連分野と関連する社会階層研究ないし関連研究に触れる。本稿では扱わないが、日本の階層研究の近年の動向をみるうえで藤原 (2023) や多喜・荒木・森 (2022) 等を参照されたい。

II 労働市場からみる社会階層

社会経済的序列から人びとを区分する概念が (社会) 階層である。階層を測定する指標としては所得や学歴などが挙げられるが、なかでも最も重視されてきたのが職業である。所得は個人の人生を通じて変化するため、一時点の状態のみから階層を測定するのは難しい。学歴は青年期以降は比較的安定的だが、それ自体が直接に財を生み出すわけではない。対して職業は個人の人生を通じてある程度安定的であり、かつ生産活動を通じて直接に財を生み出す要因と考えることが

でき、長期的なライフチャンス (Weber 1978) を表すものと理解できる。職業をもとに構築された指標として最も代表的なものは EGP 階級分類 (Erikson and Goldthorpe 1992) であろう。公的統計などでも使用される英国の社会経済分類 (NS-SEC)、あるいはヨーロッパの社会経済分類 (European Socio-economic classification) は、いずれも EGP 階級分類にもとづくものである。世代間移動の研究を中心として、EGP 階級分類あるいはそれにもとづく階級分類は階層の指標として広範に用いられている (Barone, Hertel and Smullenbroek 2022)。

他方で、EGP 階級分類、あるいは職業を用いた階層の測定には批判も寄せられている (Leicht 2020)。第1に、階級分類は製造業が中心であった時代のものであって、現代の労働過程を反映していないとする批判である。これに対応して、サービス職業を積極的に組み入れた階級分類も提案されている (Oesch 2006, 2022)。第2に、階級分類や職業は理論的に想定されるほどにはライフチャンスを測定できていないという批判である。たとえば、EGP 階級分類や職業がその後20年間の累積所得を予測する程度は単時点の所得や学歴といった指標と比べて低いという (Kim, Tamborini, and Sakamoto 2018)。近年になるほど階層の指標として職業にもとづく指標が用いられる頻度は減り、所得が優勢になっているとの指摘もある (Barone, Hertel and Smullenbroek 2022)。ただし、階級指標には不平等を生み出す理論的メカニズムに関する豊富な蓄積があり (Hertel 2017)、また職業が賃金分散を説明する程度は減じているわけではないという指摘もある (Mouw and Kalleberg 2010; Williams 2013)。多少の修正は必要としながらも、職業やそれにもとづく階級指標は依然として重要である。

どのような仕事が報酬と結びつくのかを明らかにするうえで、タスクやスキルといった仕事の特性にも注

目が集まっている。仕事の特性が不平等や態度に影響するというのは、職業とパーソナリティ研究 (Kohn and Schooler 1982) などに連なる伝統的な視点である。Liu and Grusky (2013) は、米国 O*NET の数値情報を職業小分類にリンクしたデータを用いて、分析的スキルに対するリターンが上昇していることが職業間賃金格差の拡大に寄与していることを明らかにし、社会学におけるスキル・タスク情報を用いた研究に先鞭をつけた。応用例として、プログラミングなどのコンピュータスキルや過重労働への期待の高い職業の賃金が高く、そのことが男女間賃金格差を維持させていると指摘する研究もある (Cheng, Chauhan and Chintala 2019; Yu and Kuo 2022)。そのほか、結婚への移行 (Kuo and Raley 2016)、出産後の就業継続 (Ishizuka and Musick 2021) などとの関連に関しても分析がなされている。

職業に対してスキルやタスクのスコアを与えるアプローチは、同一職業内に存在する個人間分散を捨象しているという限界がある。Martin-Caughey (2021) は、General Social Survey の仕事内容の自由記述から職名やタスクを測定したところ、職業内に少くない分散があることを明らかにしている。職名やタスクを単位としたときの性別職域分離は職業を単位としたときよりも大きく、職業のみにもとづくアプローチは不平等を過小評価するおそれがあると指摘する。同一職業内の不平等を明らかにするうえで、実際に個人がいかなるタスクを担っているのかをみていくことが重要である。

ライフチャンスの不平等を生み出す労働市場の構造として、職場の重要性も再認識されている。職場の重要性は、職場内の男女差の生成過程を詳らかにした Kanter (1977) や、地位達成過程において職場という要因が等閑視されていることを批判した Baron and Bielby (1980) ですでに指摘されている。近年の動向として、Tomaskovic-Devey and Avent-Holt (2019) が職場を不平等を生み出すメカニズムとして積極的に取り入れる研究プログラムを提案している。この場合の方向性には大きく分けて2つあるだろう。第1に、職場間でどの程度不平等が存在するのかに注目することである。具体的には、高い利益を上げて従業員に高い報酬を支払う職場と、低い報酬を支払う職場とが分化しているというものがこれに当たる。事実、多くの国で職場間の賃金分散が増加している (Tomaskovic-

Devey et al. 2020)。また、男女が異なる職業に就いているというだけでなく、男女が賃金水準の異なる職場で働いていることも男女間賃金格差の重要な要因として挙げられる (Fuller 2018; Yu and Hara 2021)。第2に、職場内で不平等が生成する過程に着目するものである。ここでは雇用主が労働者をどのように採用あるいは処遇するのかが重要であり、量的・質的方法を含め多くの研究が蓄積されている (Bills, Di Stasio and Gërkhani 2017; Rivera 2020)。

職業間・職場間賃金格差はそれぞれ独立に論じられてきたが、両者の相関も重要な論点である。アメリカの賃金格差の拡大は、典型的には製造業など中スキル労働者の働く職場の賃金水準の低下や、IT や金融産業など高賃金の職場で働く高度専門技術職者の増加に示されるように、賃金の高い職業の従事者が賃金プレミアムの高い職場で就業する傾向が強まっていることで加速している (Wilmers and Aepli 2021)。不平等を生み出す次元どうしの相関の強まりは、地位の一貫性 (Lenski 1954) を強め、エリートあるいは貧困層の固定化 (Savage 2015)、階層間の分離 (Mijs and Roe 2021) をもたらす可能性がある。これを明らかにするうえで、階層を特定の指標のみからでなく、複数の指標から捉える分析が有用である。

多くの高所得国で上位1%、0.1%の超富裕層の所得シェアが高まっている (Piketty 2013)。その所得や資産の多さから、超富裕層の動向は労働市場全体の不平等を大きく左右する。こうした背景のもと、とくにエリート層の実態や再生産のメカニズムに着目した研究も増えている。Friedman and Laurison (2019) は、同じ上級専門管理職に就く者どうしを比較した場合、高い階級の出身者のほうがより高い賃金を得やすいことを明らかにしている。出身階層に付随するさまざまな資源が、エリート階級に到達した者を差異化する要因として働いている可能性がある。こうしたエリート層の再生産過程をインタビューや参与観察にもとづいて明らかにする研究もなされている (Friedman and Laurison 2019; Rivera 2015)。

Ⅲ 社会移動

人びとの属する階層的な位置が変化することを社会移動という。社会移動は、出身背景によらず高い階層に就く機会がどの程度あるのか、言い換えれば社会の開放性がどの程度存在するのか、という機会の不平等を

測定するうえで重要視されてきた。親から子への社会移動（世代間移動）がどの程度存在し、その移動がどの程度開放的であるか、開放性の程度がいかに変化しているのかがここでの関心事となる。

世代間移動に関しては、行政データや社会調査の蓄積、歴史情報のデータ化が進む中で、以前よりもさらに頑健かつ長期におよぶ各国の社会移動の趨勢が明らかにされており（Breen and Müller 2020）、方法的革新も進んでいる（Engzell and Mood 2023）。行政データや歴史データは産業化以前まで遡って社会移動のトレンドを明らかにすることさえ可能にしている（Maas and van Leeuwen 2016；Song et al. 2020）。これらは産業化が社会移動を促すといういわゆる産業化命題（Blau and Duncan 1967；Treiman 1970）を歴史的な観点から検証する試みとして位置づけられる。

近年の所得格差の拡大が機会の不平等に対してどのようなインパクトを持つのかも重要な課題である。所得のジニ係数が大きい国ほど親子間の所得相関（弾力性）が高いという関連性は、Great Gatsby Curve（Corak 2013）と形容される。Great Gatsby Curveの妥当性やメカニズムに関する実証研究は経済学を中心に行われているが（Durlauf, Kourtellos and Tan 2022）、これに階層研究の視点からアプローチした研究として Hertel and Groh-Samberg（2019）がある。この研究では、階級間の社会経済的地位（所得や教育水準）の隔たりが大きくなるほど、階級間の移動も起こりにくくなることを示し、所得の不平等の拡大は階級からみた社会移動の程度とも関連することを明らかにしている。

社会移動を測定するうえで出身階層ないし到達階層をいかに定義し測定するのは重要な問題である。例えば世代間の不平等の再生産を見る上で、親と子のみでなくその祖先、あるいはその他の親族をみることの重要性が論じられている（Mare 2011）。親の階層が同一であったとしても、その親（祖父母）の階層が子どもの地位達成に影響しうる（Anderson, Sheppard and Monden 2018）。さらに、機会の不平等の起源はわれわれが見たことさえない過去にまで遡ることができる。Hällsten and Kolk（2023）は、7世代前の祖先の階層が個人の階層と正に相関することを明らかにしている。別の論点として、親や子どもの階層自体が時間によって変化することから、出身階層と到達階層のそれぞれを変化の軌跡で捉えるアプローチも提唱され

ている（Cheng and Song 2019）。これらはいずれも何をもって出身階層・到達階層とみなし、いかにそれを測定すべきかを問いかけている。

機会の不平等とはやや異なる論点として、社会移動を階層間の親近性を測定する指標として活用する考え方も存在する。相互に移動が発生しやすい階級どうしは利害や価値観を共有しやすく、したがって階級としての結晶化の程度が大きいと考えるのである（Goldthorpe 1980）。移動を階級の親近性の測定指標と見る場合、世代間移動のみならず個人のキャリアの過程における移動（世代内移動）も重要な意味をもつ。伝統的には、産業構造や経済状況の変化によって世代内移動のパターンがどのように変化するのか（DiPrete et al. 1997）が関心を持たれてきた。世代間移動表のごとく隣接2時点間の世代内職業移動表を作成しその構造を分析した Jarvis and Song（2017）は、米国では世代内階級間移動が起こりやすくなっていることをもって、階級間の障壁が流動化しつつあると論じる。ただし、移動が起こるといっても、相互に移動が起こりやすい職業もあればそうでない職業もあるだろう。その規則性を記述することによって階級間の障壁の在り処（労働市場の分断）を特定したり（Cheng and Park 2020）、スキルの類似性やネットワークの構造が階級移動に対していかに影響するのかを明らかにする研究（Lin and Hung 2022）もなされている。

IV 方法的革新

階層研究の主たる課題は不平等の実態とメカニズムを明らかにすることにあるが、近年は不平等を縮小するためにはどうすればよいか、といった応用的あるいは政策的関心も高まっている（DiPrete and Fox-Williams 2021）。このような関心に対しては因果推論が力を発揮する。不平等という観点で見た場合、ある政策介入が低階層者のアウトカムを高階層者のアウトカムに比してより大きく改善するのか、言い換えればある介入が階層によって異なる効果を持つのかという効果の異質性（Brand and Xie 2010）が関心事となる。たんに異なるというだけでなく、その異質性が既存の不平等を拡大する方向のものか、あるいは縮小する方向のものかというのが重要である。

具体的な研究例を挙げる。Jackson and Schneider（2022）は、差の差法（二方向固定効果モデル）を用いて、州レベルの公的投資の増加は低階層の親の子

もに対する私的投資をより増加させ、結果、私的投資の階層間格差を縮小することを明らかにしている。Brand (2023) は、傾向スコア法を用いて、大学進学がその後の社会経済的アウトカムに与える効果、およびそれが個人の出身背景によって異なるかどうかを分析している。その結果、大学進学が貧困に陥る確率を減らす効果は、出身階層が低いなど大学に行きにくい属性を持つ者においてより大きいことなどを明らかにしている。また、親子に対して学校教育（たとえば大学教育）を受けることの利点に関する情報提供を行うフィールド実験を行い、低階層では高階層と比べてより大きく成績や進学率が上昇したことを示した研究もある (Barone et al. 2018; Barone, Fougère and Pin 2021)。これらはいずれも政策介入による不平等の縮小効果を検証することを企図している。最近では、階層をはじめとする属性間の格差に対する因果効果の推定方法も提案されている (Lundberg 2022)。

不平等のメカニズムを明らかにするうえで実験にも注目が集まっている。個人や世帯から得られた観察データは、不平等の実態の記述には優れている一方、メカニズムを明らかにするうえでは不足する部分も多い。研究者自身が処置の程度や有無を操作できる実験は、どのような要因から不平等が生まれているのかを特定するのに適している (Barone and Solga 2020; Jackson and Cox 2013)。

たとえば求人に対して架空の履歴書を送付し、属性別に返答率を比較することで差別の程度を測定する監査実験は、人種・エスニシティ分野を中心に膨大な蓄積がある (Gaddis 2019)。階層との関連でいえば、出身階層が高い応募者、あるいは大学での成績が良い応募者は、男性であると採用確率が上昇する一方、女性であると低下することを示した研究が挙げられる (Quadlin 2018; Rivera and Tilcsik 2016)。また、前職が非典型雇用の場合、それが男性応募者であると採用確率が低下することを示した研究もある (Pedulla 2020)。これらの研究は、階層がもつシグナルがジェンダーによって異なって解釈されることを示している。また、雇用主のみならず、労働者自身も、特定の属性を持つ者が低く評価されることを受け入れている側面があるかもしれない。Auspurg, Hinz and Sauer (2017) は、労働者が女性の場合には、行っている仕事や労働時間、学歴等が同一であったとしても、その賃金が高すぎると評価されやすいことを要因配置実験

を用いて明らかにしている。

V 今後の展望

近年の社会階層研究を特徴づける変化の1つは、データの充実と方法的革新である。複数の社会調査データの結合や行政データ、歴史データ等の活用は、ますます長期かつ詳細な社会階層・社会移動の記述を可能にしている。また因果推論や実験その他の方法的革新は、これまで以上に不平等のメカニズムや政策効果に接近することを可能にしている。これらの動向は今後も進んでいくものと思われる。

上記の革新の一方、2000年代頃まで盛んに行われていた比較社会的な研究の割合は減っているかもしれない。不平等がいかなる社会構造のもとで生じるのかを明らかにするうえでは、異なる社会からの視点が欠かせない。ここに日本を扱う社会階層研究の貢献の余地がある。少子高齢化、硬直的な労働市場、強いジェンダー規範、等々の諸特徴は日本の不平等を理解するのみならず、社会の構造がいかに不平等を形成するかを理解するための重要な文脈であり、事例としての日本の価値は決して低くない。むしろデータの水準や充実度という点では一層データの収集・整備・活用の努力が必要である。それに加えて、日本の事例が社会階層研究の研究蓄積、不平等現象の理解に対していかなる貢献をなしうるのかを国際的観点から位置づけ、1つでも多く研究成果を発信することが求められる。

参考文献

- 多喜弘文・荒木啓史・森いづみ (2022) 「『教育と階層』領域における計量的比較研究——国内外の研究をめぐる分断状況を超えて」『教育社会学研究』110巻, pp. 307-348.
- 藤原翔 (2023) 「分野別研究動向 (社会階層) —— 格差社会の中の階層研究」『社会学評論』73巻4号, pp. 445-459.
- Anderson, Lewis, Paula Sheppard and Christiaan Monden (2018) "Grandparent Effects on Educational Outcomes: A Systematic Review," *Sociological Science*, Vol. 5, pp. 114-142.
- Auspurg, Katrin, Thomas Hinz and Carsten Sauer (2017) "Why Should Women Get Less? Evidence on the Gender Pay Gap from Multifactorial Survey Experiments," *American Sociological Review*, Vol. 82, No. 1, pp. 179-210.
- Baron, James N. and William T. Bielby (1980) "Bringing the Firms Back in: Stratification, Segmentation, and the Organization of Work," *American Sociological Review* Vol. 45, No. 5, pp. 737-765.
- Barone, Carlo, Giulia Assirelli, Giovanni Abbiati, Gianluca Argentin and Deborah De Luca (2018) "Social Origins, Relative Risk Aversion and Track Choice: A Field Experiment on the Role of Information Biases," *Acta Sociologica*, Vol. 61, No. 4, pp. 441-459.

- Barone, Carlo, Denis Fougère and Clément Pin (2021) "Social Origins, Shared Book Reading, and Language Skills in Early Childhood: Evidence from an Information Experiment," *European Sociological Review*, Vol. 37, No. 1, pp. 18-31.
- Barone, Carlo, Florian R. Hertel and Oscar Smallenbroek (2022) "The Rise of Income and the Demise of Class and Social Status? A Systematic Review of Measures of Socio-Economic Position in Stratification Research," *Research in Social Stratification and Mobility*, Vol. 78, 100678.
- Barone, Carlo and Heike Solga (2020) "Introduction: Experimental Methods in Social Stratification Research," *Research in Social Stratification and Mobility*, Vol. 65, 100478.
- Bills, David B., Valentina Di Stasio and Klarita Gërxfhani (2017) "The Demand Side of Hiring: Employers in the Labor Market," *Annual Review of Sociology*, Vol. 43, pp. 291-310.
- Blau, Peter Michael and Otis Dudley Duncan (1967) *The American Occupational Structure*, New York: Free Press.
- Brand, Jennie E. (2023) *Overcoming the Odds: The Benefits of Completing College for Unlikely Graduates*, New York, NY: Russell Sage Foundation.
- Brand, Jennie E. and Yu Xie (2010) "Who Benefits Most from College?: Evidence for Negative Selection in Heterogeneous Economic Returns to Higher Education," *American Sociological Review*, Vol. 75, No. 2, pp. 273-302.
- Breen, Richard and Walter Müller (eds.) (2020) *Education and Intergenerational Social Mobility in Europe and the United States*, Stanford, CA: Stanford University Press.
- Cheng, Siwei, Bhumika Chauhan and Swati Chintala (2019) "The Rise of Programming and the Stalled Gender Revolution," *Sociological Science*, Vol. 6, pp. 321-351.
- Cheng, Siwei and Barum Park (2020) "Flows and Boundaries: A Network Approach to Studying Occupational Mobility in the Labor Market," *American Journal of Sociology*, Vol. 126, No. 3, pp. 577-631.
- Cheng, Siwei and Xi Song (2019) "Linked Lives, Linked Trajectories: Intergenerational Association of Intragenerational Income Mobility," *American Sociological Review*, Vol. 84, No. 6, pp. 1037-1068.
- Corak, Miles (2013) "Income Inequality, Equality of Opportunity, and Intergenerational Mobility," *Journal of Economic Perspectives*, Vol. 27, No. 3, pp. 79-102.
- DiPrete, Thomas A. and Brittany N. Fox-Williams (2021) "The Relevance of Inequality Research in Sociology for Inequality Reduction," *Socius: Sociological Research for a Dynamic World*, Vol. 7, doi: 10.1177/23780231211020199.
- DiPrete, Thomas A., Paul M. de Graaf, Ruud Luijkx, Michael Tählin and Hans-Peter Blossfeld (1997) "Collectivist versus Individualist Mobility Regimes? Structural Change and Job Mobility in Four Countries," *American Journal of Sociology*, Vol. 103, No. 2, pp. 318-358.
- Durlauf, Steven N., Andros Kourtellos and Chih Ming Tan (2022) "The Great Gatsby Curve," *Annual Review of Economics*, Vol. 14, No. 1, pp. 571-605.
- Engzell, Per and Carina Mood (2023) "Understanding Patterns and Trends in Income Mobility through Multiverse Analysis," *American Sociological Review*, Vol. 88, No. 4, pp. 600-626.
- Erikson, Robert and John H. Goldthorpe (1992) *The Constant Flux: A Study of Class Mobility in Industrial Societies*, Oxford: Clarendon Press.
- Friedman, Sam and Daniel Laurison (2019) *The Class Ceiling: Why It Pays to Be Privileged*, Policy Press.
- Fuller, Sylvia (2018) "Segregation across Workplaces and the Motherhood Wage Gap: Why Do Mothers Work in Low-Wage Establishments?" *Social Forces*, Vol. 96, No. 4, pp. 1443-1476.
- Gaddis, S. Michael (2019) "Understanding the 'How' and 'Why' Aspects of Racial-Ethnic Discrimination: A Multimethod Approach to Audit Studies," *Sociology of Race and Ethnicity*, Vol. 5, No. 4, pp. 443-455.
- Gangl, Markus, Lucinda Platt, Javier G. Polavieja and Herman G. van de Werfhorst (eds.) (in press) *The Oxford Handbook of Social Stratification*, Oxford University Press.
- Goldthorpe, John H. (1980) *Social Mobility and Class Structure in Modern Britain*, London, England: Oxford University Press.
- Hällsten, Martin and Martin Kolk (2023) "The Shadow of Peasant Past: Seven Generations of Inequality Persistence in Northern Sweden," *American Journal of Sociology*, Vol. 128, No. 6, pp. 1716-1760.
- Hertel, Florian R. (2017) *Social Mobility in the 20th Century Class Mobility and Occupational Change in the United States and Germany*, Springer VS, Wiesbaden.
- Hertel, Florian R. and Olaf Groh-Samberg (2019) "The Relation between Inequality and Intergenerational Class Mobility in 39 Countries," *American Sociological Review*, Vol. 84, No. 6, pp. 1099-1133.
- Ishizuka, Patrick and Kelly Musick (2021) "Occupational Inflexibility and Women's Employment during the Transition to Parenthood," *Demography*, Vol. 58, No. 4, pp. 1249-1274.
- Jackson, Margot I. and Daniel Schneider (2022) "Public Investments and Class Gaps in Parents' Developmental Expenditures," *American Sociological Review*, Vol. 87, No. 1, pp. 105-142.
- Jackson, Michelle and D. R. Cox (2013) "The Principles of Experimental Design and Their Application in Sociology," *Annual Review of Sociology*, Vol. 39, pp. 27-49.
- Jarvis, Benjamin F. and Xi Song (2017) "Rising Intragenerational Occupational Mobility in the United States, 1969 to 2011," *American Sociological Review*, Vol. 82, No. 3, pp. 568-599.
- Kalleberg, Arne L. and Aage B. Sørensen (1979) "The Sociology of Labor Markets," *Annual Review of Sociology*, Vol. 5, pp. 351-379.
- Kanter, Rosabeth Moss (1977) *Men and Women of the Corporation*, Basic Books.
- Killewald, Alexandra, Fabian T. Pfeffer and Jared N. Schachner (2017) "Wealth Inequality and Accumulation," *Annual Review of Sociology*, Vol. 43, pp. 379-404.
- Kim, Chang Hwan, Christopher R. Tamborini and Arthur Sakamoto (2018) "The Sources of Life Chances: Does Education, Class Category, Occupation, or Short-Term Earnings Predict 20-Year Long-Term Earnings?" *Sociological Science*, Vol. 5, pp. 206-233.
- Kohn, Melvin L. and Carmi Schooler (1982) "Job Conditions and Personality: A Longitudinal Assessment of Their Reciprocal Effects," *American Journal of Sociology*, Vol. 87, No. 6, pp. 1257-1286.
- Kuo, Janet Chen-Lan and R. Kelly Raley (2016) "Is It All

- about Money? Work Characteristics and Women's and Men's Marriage Formation in Early Adulthood," *Journal of Family Issues*, Vol. 37, No. 8, pp. 1046-1073.
- Leicht, Kevin T. (2020) "Occupations and Inequalities in the 21st Century: What's in Your Wallet?" *Research in Social Stratification and Mobility*, Vol. 70, 100550.
- Lenski, Gerhard E. (1954) "Status Crystallization: A Non-Vertical Dimension of Social Status," *American Sociological Review*, Vol. 19, No. 4, pp. 405-413.
- Lin, Ken-Hou and Koit Hung (2022) "The Network Structure of Occupations: Fragmentation, Differentiation, and Contagion," *American Journal of Sociology*, Vol. 127, No. 5, pp. 1551-1601.
- Liu, Yujia and David B. Grusky (2013) "The Payoff to Skill in the Third Industrial Revolution," *American Journal of Sociology*, Vol. 118, No. 5, pp. 1330-1374.
- Lundberg, Ian (2022) "The Gap-Closing Estimand: A Causal Approach to Study Interventions That Close Disparities Across Social Categories," *Sociological Methods and Research*, doi:10.1177/00491241211055769.
- Maas, Ineke and Marco H. D. van Leeuwen (2016) "Toward Open Societies? Trends in Male Intergenerational Class Mobility in European Countries during Industrialization," *American Journal of Sociology*, Vol. 122, No. 3, pp. 838-885.
- Mare, Robert D. (2011) "A Multigenerational View of Inequality," *Demography*, Vol. 48, No. 1, pp. 1-23.
- Martin-Caughey, Ananda (2021) "What's in an Occupation? Investigating within-Occupation Variation and Gender Segregation Using Job Titles and Task Descriptions," *American Sociological Review*, Vol. 86, No. 5, pp. 960-999.
- Mijs, Jonathan J. B. and Elizabeth L. Roe (2021) "Is America Coming Apart? Socioeconomic Segregation in Neighborhoods, Schools, Workplaces, and Social Networks, 1970-2020," *Sociology Compass*, Vol. 15, No. 6, doi: 10.1111/soc4.12884.
- Mouw, Ted (2022) "A Century of Key Trends and Debates in Social Stratification in Social Forces," *Social Forces; A Scientific Medium of Social Study and Interpretation*, Vol. 101, No. 2, pp. 535-545.
- Mouw, Ted and Arne L. Kalleberg (2010) "Occupations and the Structure of Wage Inequality in the United States, 1980s to 2000s," *American Sociological Review*, Vol. 75, No. 3, pp. 402-431.
- Oesch, Daniel (2006) *Redrawing the Class Map: Stratification and Institutions in Britain, Germany, Sweden and Switzerland*, Palgrave Macmillan.
- (2022) "Contemporary Class Analysis," *JRC Working Paper Series on Social Classes in the Digital Age, 2022-01*.
- Pedulla, David S. (2020) *Making the Cut: Hiring Decisions, Bias, and the Consequences of Nonstandard, Mismatched, and Precarious Employment*, Princeton University Press.
- Piketty, Thomas (2013) *Capital in the Twenty-First Century*, Belknap Press.
- Quadlin, Natasha (2018) "The Mark of a Woman's Record: Gender and Academic Performance in Hiring," *American Sociological Review*, Vol. 83, No. 2, pp. 331-360.
- Rivera, Lauren A. (2015) *Pedigree: How Elite Students Get Elite Jobs*, Princeton University Press.
- (2020) "Employer Decision Making," *Annual Review of Sociology*, Vol. 46, pp. 215-232.
- Rivera, Lauren A. and András Tilcsik (2016) "Class Advantage, Commitment Penalty: The Gendered Effect of Social Class Signals in an Elite Labor Market," *American Sociological Review*, Vol. 81, No. 6, pp. 1097-1131.
- Savage, Mike (2015) *Social Class in the 21st Century*, Penguin UK.
- Song, Xi, Catherine G. Massey, Karen A. Rolf, Joseph P. Ferrie, Jonathan L. Rothbaum and Yu Xie (2020) "Long-Term Decline in Intergenerational Mobility in the United States since the 1850s," *Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America*, Vol. 117, No. 1, pp. 251-258.
- Tomaskovic-Devey, Donald and Dustin Avent-Holt (2019) *Relational Inequalities: An Organizational Approach*, Oxford University Press.
- Tomaskovic-Devey, Donald, Anthony Rainey, Dustin Avent-Holt, Nina Bandelj, István Boza, David Cort, Olivier Godechot, Gergely Hajdu, Martin Hällsten, Lasse Folke Henriksen, Are Skeie Hermansen, Feng Hou, Jiwook Jung, Aleksandra Kanjuo-Mrčela, Joe King, Naomi Kodama, Tali Kristal, Alena Křížková, Zoltán Lippényi, Silvia Maja Melzer, Eunmi Mun, Andrew Penner, Trond Petersen, Andreja Poje, Mirna Safi, Max Thaning and Zaibu Tufail (2020) "Rising Between-Workplace Inequalities in High-Income Countries," *Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America*, Vol. 117, No. 17, pp. 9277-9283.
- Treiman, Donald J. (1970) "Industrialization and Social Stratification," *Sociological Inquiry*, Vol. 40, No. 2, pp. 207-234.
- Weber, Max. (1978) *Economy and Society: An Outline of Interpretive Sociology*, in G. Roth, C. Wittich and E. Translated by Fischhoff. Berkeley (eds.), University of California Press.
- Williams, Mark (2013) "Occupations and British Wage Inequality, 1970s-2000s," *European Sociological Review*, Vol. 29, No. 4, pp. 841-857.
- Wilmers, Nathan and Clem Aeppli (2021) "Consolidated Advantage: New Organizational Dynamics of Wage Inequality," *American Sociological Review*, Vol. 86, No. 6, pp. 1100-1130.
- Yu, Wei-Hsin and Yuko Hara (2021) "Motherhood Penalties and Fatherhood Premiums: Effects of Parenthood on Earnings Growth Within and Across Firms," *Demography*, Vol. 58, No. 1, pp. 247-272.
- Yu, Wei-Hsin and Janet Chen-Lan Kuo (2022) "Time Is Money? Wage Premiums and Penalties for Time-Related Occupational Demands," *American Journal of Sociology*, Vol. 128, No. 3, pp. 820-865.

むぎやま・りょうた 学習院大学法学部准教授。最近の論文に「Cohort Changes in Educational Gradient in Women's Employment Around Childbirth in Japan,」*Research in Social Stratification and Mobility*, Vol. 89, 100885 (2024年)。社会階層論専攻。